世界7箇所に設置された太陽中性子観測網で、第24太陽活動期で太陽中性子観測が行われている。共同研究経費は観測網の中心拠点である乗鞍観測所の太陽中性子望遠鏡の維持に使われた。第24太陽活動期は、平成26年2月に極大を迎え、それ以降下降線をだとっているが、太陽中性子は極大期以降に検出されることもあるので、今後とも観測を継続していきたい。平成28年7月23日に乗鞍で観測条件のよい時間帯に中規模の太陽フレアが発生したが、太陽中性子は検出されなかった。